



鹿島高校だより

第1号
(2026.4)

題字：書道科担当
吉田 恭子

学校長挨拶

校長 北村 昭彦



本年度も校長を務めます北村昭彦です。どうぞよろしくお願いいたします。

本校は、鹿島高校と鹿島実業高校が再編統合され、2018年(平成30年)に開校して以来、いよいよ9年目を迎えます。両校の歴史と伝統を大切に継承しながら、鹿島市内唯一の高校として、地域の期待に応える学校づくりに努めてまいります。

今年度の始業式では、生徒たちに次の言葉を伝えました。心理学者エリック・バーンの言葉です。
「過去と他人は変えられない。しかし、自分と未来は変えられる。」

過去の結果や周囲の環境にとらわれず、「自分は、これから、どう行動するか」を考え、一步一步前に進みながら、大きく成長してほしいと願っています。

高校3年間は「子ども」から「大人」へと成長すべき人生の大きな節目です。社会に貢献できる自立した大人へと成長してほしいという思いを込めて、今年度も、次のスローガンのもと、教育活動を進めてまいります。

【令和8年度 学校スローガン】

「大志・探求・至誠」を胸に、未来を切り拓く

【大志】高い志を抱き、夢や目標の実現を通して社会に貢献する。

【探求】自分や社会の未来を問い続け、答えを求めて学び続ける。

【至誠】誠実に物事に取り組み、真心をもって人と接する。

最後に、生徒・保護者・地域の皆様に、「行ってよかった学校」・「行かせて良かった学校」・「あってよかった学校」と思ってもらえる、誰からも信頼され、愛される学校づくりを目指してまいります。今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一人一人の今日の一步が、やがて未来をつくれます。

入学式

新たな門出

4月8日(水)令和8年度入学式を赤門学舎体育館で行いました。138名の新入生が鹿島高校生としての第一歩を踏み出します。

真新しい制服を着た新入生は、期待に胸を膨らませ、緊張した面持ちで式に臨みました。式の中では、2・3年生の部活動代表の生徒と生徒会役員が校歌を歌って紹介しました。また、吹奏楽部による新入生歓迎の演奏が行われました。式の後、各教室で初めてのホームルームが行われました。



包丁授与式

調理師への第一歩



4月13日(月)食品調理科の1年生を対象に包丁授与式を行いました。校長先生から一人ひとりに包丁セットが手渡され、自分の名前が入った自分専用の包丁を手にした生徒たちは、これから始まる専門的な学びへの期待と調理のプロを目指す決意に満ち溢れていました。

赤門祭準備

応援リーダー主導の練習が本格始動。

今年度、熱中症対策の試みとして赤門祭(体育祭)が4月24日(金)に開催されます。練習開始に向け、それぞれの団に分かれて、4月13日(月)結団式が行われました。応援リーダーたちは、昨年度から準備を始めており、やる気にみなぎっています。

全員が楽しめる体育祭
を作れるよう頑張ります！
(白団・団長)



笑顔であふれる
体育祭にします！
(青団・団長)



今年も大手門が
優勝してみせます！
(赤団・団長)



ガーデンコンサート

ようこそ、鹿島高校へ！



4月10日(金)新入生を歓迎し、赤門学舎中庭で書道部と吹奏楽部によるパフォーマンスが行われました。当日は雨が降っていましたが、観覧していた新入生たちからは、「演奏を聴いて気持ちが明るくなった」「書道部のパフォーマンスは勢いがあってかっこよかった」「もっと見ていたかった」などと楽しげな声が聞かれました。

<写真はリハーサル時>

対面式・部活動紹介

高校生活のスタート



4月9日(木)および13日(月)2・3年生の先輩による工夫を凝らした部活動紹介や対面式が行われました。対面式において、新入生代表の生徒は、「自分の将来に向けて、様々なことに興味関心をもち、責任をもって行動していきたい」と決意を新たにしました。